

プラズマ・核融合学会誌

第91巻第11号

2015年11月

それぞれの記事のタイトルをクリックすると、本文[PDF]が開きます

解 説	IFERC 計算機シミュレーションセンターの活動とシミュレーション研究 中島徳嘉, 石井康友, 福山 淳, 矢木雅敏, CLEMENT Susana, NOE Jacques, ROBIN François and BORBA Duarte	711
講 座	MHD ダイナモ：流れによる磁場の自発的形成 5. 銀河ダイナモ 松元亮治, 町田真美	721
	6. まとめ 陰山 聡	727
講 座	宇宙機と宇宙プラズマ相互作用による放電現象の地上実験と軌道上実験 4. 放電現象解明のための軌道実証結果の紹介 4.1 低軌道環境下での初期放電誘起実験(PASCAL) 奥村哲平, 高橋真人	729
	4.2 宇宙機帯電観測装置の実証(ATOTIE-mini) 奥村哲平, 高橋真人	732
	4.3 超小型衛星による高電圧発電の実証(鳳龍式号) 増井博一, 趙 孟佑	735
	5. おわりに 増井博一, 趙 孟佑	738
Plasma and Fusion Research 掲載論文アブストラクト	740
インフォメーション ITER だより(54) 炉設計特別チームだより(2) 【人事公募】	741
Plasma & Fusion Calendar	748
本 会 記 事 第13回高校生シンポジウム「レーザーとプラズマエネルギー～最先端レーザーを体感」最優秀発表賞を受賞した発表内容の掲載について／広報委員会だより「小学生のための夏休み『自由研究』教室」(日本大学)での出展	750
編 集 後 記		

表紙の絵

相互作用(クロススケール結合)の実測をめざしたトモグラフィ装置のプロトタイプが九州大学の直線装置PANTAで試行されている。現在、アルゴンプラズマの中性粒子(ArI)と一価のアルゴンイオン(ArII)の発光が同時観測され成果が得られ始めている。図に示した結果は、ArIとArIIの局所発光の時間変化(上)およびウェーブレットスペクトルの時間変化(中)と高速フーリエ変換で得たスペクトル(下)の一例である。(Akihide FUJISAWA *et al.*, Plasma and Fusion Research Vol. 10, 1201080 (2015) <http://www.jspf.or.jp/PFR/>)

【複写をされる方へ】本学会は、本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しています。本誌に掲載された著作物の複写をご希望の方は、(社)学術著作権協会より許諾を受けてください。但し、企業等法人による社内利用目的複写については、当該企業等法人が社団法人日本複写権センター(社)学術著作権協会が社内利用目的複写に関する権利を再委託している団体)と包括複写許諾契約を締結している場合にあっては、その必要はありません(社外頒布用の複写については許諾が必要です)。

権利委託先：一般社団法人学術著作権協会 〒107-0052東京都港区赤坂9-6-41乃木坂ビル 3F Tel: 03-3475-5618 E-mail: info@jaacc.jp

複写以外の許諾(著作物の引用、転載、翻訳等)に関しては、(社)学術著作権協会に委託しておりません。直接当学会へお問い合わせください。